

# 子どもと職員が笑顔の保育園 「ゆめの木」を世界へ広げる



株式会社 FIVE・T

〒003-0835

北海道札幌市白石区北郷5条3-1-1 1107

URL <https://www.fivet.co.jp/>

## Company data

代表取締役

**辻井 淳一**

約20年の幼稚園・保育園勤務を経て2014年に(株)FIVE・Tを設立。同年に北海道にて児童発達支援・放課後等デイサービス「ゆめの木」を開所したことを皮切りに、2017年の時点では計5つの保育施設を運営している。北海道を拠点に千葉県にも事業を拡大中。

## Personal data



矢部 まずは辻井社長のこれまでの歩みからお聞かせください。

辻井 スポーツ少年団でバレーボールを教えていましたが、より地域に根付いた活動をしたいと思い、保育業界に入りました。そして、長年勤める中で、自分の理想を反映した施設をつくりたいと考えようになったのです。昨今の待機児童問題に悩まされる親御さん方の力になって社会貢献をしたいという思いもあり、2014年に起業しました。

矢部 そうなんですね。そして現在は複数の保育施設を手掛けておられるとか。

辻井 ええ。最初は札幌市内で保育施設を設立しましたが、やはり関東圏内のほうが待機児童数などの問題は顕著なので、以前よりつながりのあった千葉県市川市内にも展開していきました。

保育においては「子どもたちに体験してもらおうこと」を大切にしているんです。例えば児童デイサービスでは、外部の元プロ選手と連携を図ってスポーツに取り組んでいます。その際のチームのキャプテンは順番に回します。学校の日直のようなイメージですね。役割を任せられることで子どもたちの意識も自然と変わってきて、楽しみながらも、チームで動くことの大切さを学んでくれるんですよ。

矢部 なるほど。みんなで遊ぶとなると、

中には友達の輪に入るのが苦手な子も出てきてしまいそうですが…。

辻井 ええ、やはり大人の社会と同じように当然向き不向きはありますからね。そういう子には、まず職員と一対一で遊ばせるようにしています。先生と楽しそうに遊んでいると周りの子たちも集まってくるんですよ。職員が子どもと向き合い寄り添う姿勢は、どんな子どもが相手でも変わらず重要なことだと思います。

矢部 職員の方を育てるにあたって、心掛けていることはありますか？

辻井 職員が笑顔で働ける環境づくりを大切にしています。子どもは純粋で吸収力も高いので、引っ張っていく職員の笑顔が伝わり、みんなが楽しいと思える場にしたいのです。また、保育はチームプレイなので、共に行動しているという意

識を持つことも欠かせません。慈愛と感謝の心を忘れずに、みんなで一緒に幸せをつかみたいですね。

矢部 では、お仕事をされる中でのやりがいについても教えてください。

辻井 親御さんから、家でお子さんが楽しそうに保育園での出来事を話してくれると聞くと嬉しいですね。子どもの純粋な心を伸ばし、ありのままの姿で育つようにサポートしてあげたいと思います。

矢部 子どもや職員の方への思いやりを感じます。今後の展望はいかがでしょう。

辻井 小規模保育だけでなく認可保育園もさらに増やして、全国に広げていきたいです。施設名の「ゆめの木」には、子どもの夢の木をつくり、育てていくという思いを込めています。いつかは世界中に、この木を広げていきたいです。

## Guest Comment

矢部 みほ (タレント)

とにかく保育に対して熱い思いをお持ちの辻井社長。職員の方との連携も大切にされていて、一人ひとりとの面談も定期的に行っているそうです。より良い職場環境が子どもたちにとってもベストな運営に結び付くことですから、ゆくゆくは全国だけでなく世界も見据えて幸せを広げていって頂きたいです。

